

2009年1月

## 「首都圏SGGクラブ」の概要

首都圏SGGクラブ

### 沿革

1983年（昭和58年）2月、特殊法人「国際観光振興会」（現在の独立行政法人「国際観光振興機構」）の呼び掛けに応じて首都圏在住の英語による観光ボランティアガイドの有志が「首都圏SGGクラブ」の名のもとに結集し組織化されたもの。任意団体であり、役員を含む全員がボランティアの自由人です。

SGGとは Systematized Goodwill Guide の略称であり、系列の団体は私共首都圏SGGクラブの他国内の地域毎に多数活動しており、中には地方夫々の自治体とも密接に連携しつつ、外国人の観光誘致に努めています。

### 組織の概要（2009年1月現在）

名 称：首都圏SGGクラブ

（2009年2月1日「東京SGGクラブ」に改名する予定）

所在地等：〒111-0034

東京都台東区雷門2-18-9 浅草文化観光センター内

電 話： 03-3842-5566

（クラブ専用）：03-6280-6710

会 長：大久保広海

会 員 数：129名

### 活動の概要（2009年1月現在）

#### （1）外国人への通訳・案内活動

拠点活動：① 台東区浅草文化観光センター案内所（台東区雷門）

② 国際観光振興機構 TIC 東京案内所（千代田区有楽町）

③ 台東区立下町風俗資料館（台東区上野公園）

④ 上野公園グリーンサロン（ 〃 ）

個別活動：① 国際観光振興機構の依頼による外国人同行案内

② 台東区の依頼によるイベントでの通訳や外国人同行案内

③ 各種団体の依頼によるイベントでの通訳や外国人同行案内

年間外国人案内実績：36,700人（平成19年度実績）

#### （2）クラブ内管理活動

年次総会、臨時総会、月例役員会、月例会、研修会、懇親会、入会審査、会報発行、ホームページ公開、ボランティア保険加入、年会費納付、等。

以 上

## 首都圏SGGクラブ（ボランティアガイド）と 通訳案内士との関係

首都圏SGGクラブ

1. 私共の活動は、善意に基く自主的なものに限定しており、報酬を得て職業として行う活動とは基本的に異なる領域にあります。  
今までの実績で、この活動領域の在り方について通訳案内士業界との間に問題を生じたことはありません。
2. 弊クラブでは独自の選考方法で新入会員を募集していますが、通訳案内士の資格を持つ方が応募された場合、その資格を参考にさせて戴くことはあっても採否を決める要件とはしておりません。  
弊クラブ近年の状況では、毎年の入会応募者数は募集予定の5倍以上に達しており、通訳案内士の有資格者であっても結果的に選考から外れる場合があります。
3. 通訳案内士の資格を持つ弊クラブの会員が、報酬を得る目的で、弊クラブの名の下に活動して問題とされた例は過去にありません。今後若しそのような事態を生じた場合にはご当人には退会して戴くこととなります。

### [追 補] 弊クラブ運営上の近年の問題点に就いて

近頃案内所で外国人から受ける問い合わせは、観光旅行に関するものとは限らず、生活一般とも云える、細かい、直接的な事柄に及ぶ事例が増えて来ています。

この傾向に対処するには、従来のような研修の繰り返しや配布するプリント資料の整備では限界があり、より巾広く、且つより具体的に対応出来る能力を涵養することが望まれます。

対策の一つとして、以前から常用しているコンピュータからの情報検索手法は、これを会員全員が利用し易いよう改善を図り、その一層の習熟普及に努めていきたいと考えております。

以 上